

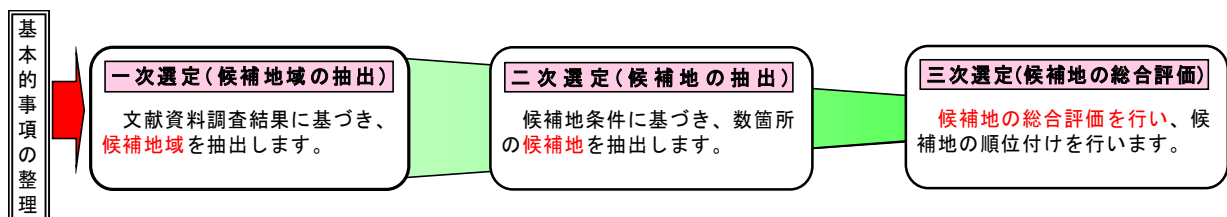
廃棄物処理施設の適地選定調査

◆ 候補地選定とは

- 廃棄物処理施設の立地計画においては、廃棄物処理施設の必要性は認めながらも、「なぜ自分の家の近くに建設するのか」に象徴されますように、住民同意を得にくい問題をかかえています。
- そのため、それぞれの地域の特性や候補地の特性を十分把握した上で、用地選定の考え方を明確にし、多くの住民に合意を得る必要があります。
- 廃棄物処理施設に関する候補地選定に関しては、住民合意の形成を図りながら、候補地選定の過程を明確化して行く必要があります。

◆ 候補地選定の流れ

- 廃棄物処理施設における候補地選定は、地域特性の把握、施設整備モデルの設定及び候補地条件の設定などの基本的事項を整理した上で行います。

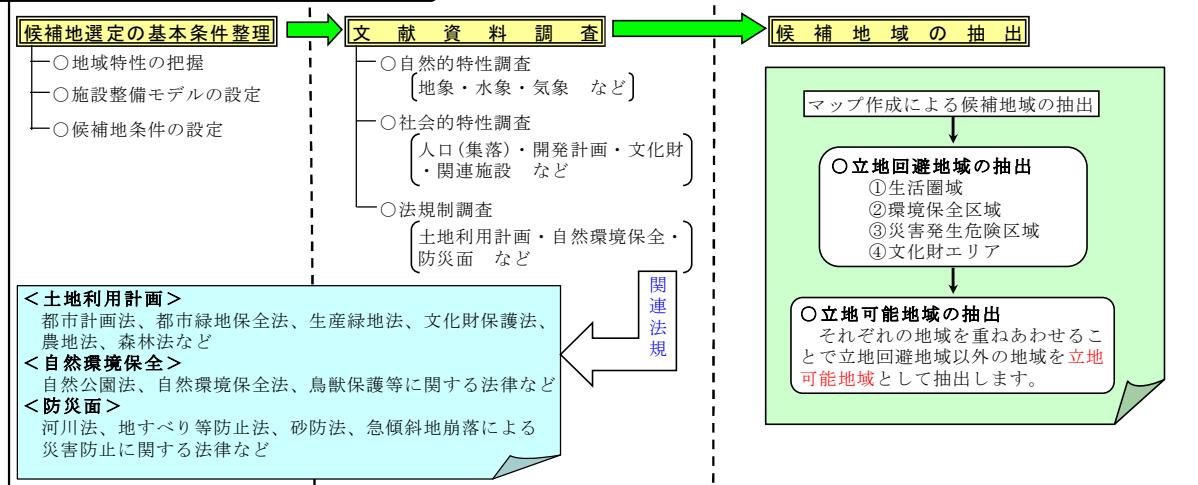


- 一次選定では文献資料調査に基づき候補地域の設定を行います。
- 二次選定では一次選定で設定された候補地域の中から、候補条件（収集・運搬条件、地形・地質条件、インフラ条件）に基づき、数箇所の候補地を抽出します。
- 二次選定で抽出した候補地は、評価の考え方を具体化した評価項目及び評価基準に基づき、候補地の総合評価を行い、その評価結果を踏まえて最終的に候補地の順位付けを行います。

◆ 一次選定(候補地域の抽出)

- 一次選定では、廃棄物処理施設を建設することが可能な地域を把握するために、文献資料調査を実施して、候補地域を抽出します。
- 文献資料調査は、生活圏域、環境保全区域、災害発生危険区域及び文化財エリアなどを立地回避地域として抽出することを目的に、①自然的特性調査（地象・水象・気象）、②社会的特性調査（人口(集落)・開発計画・文化財・関連施設）、③法規制調査（土地利用計画・自然環境保全・防災面）などを実施します。
- 文献資料結果に基づき、それぞれの立地回避地域を重ね合わせたマップを作成し、立地回避地域以外を原則として立地可能地域として抽出します。

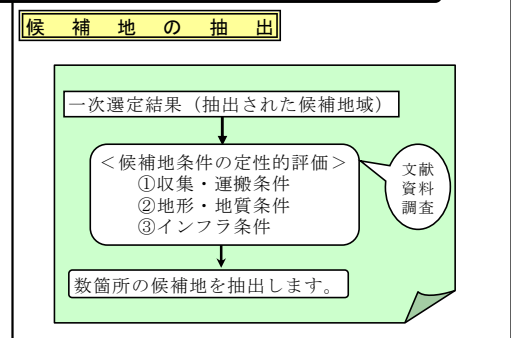
一次選定（候補地域の抽出）



◆ 二次選定（候補地の抽出）

- 二次選定では、抽出された候補地域内で収集・運搬条件、地形・地質条件及びインフラ条件などの候補地条件の適合性を文献資料調査により定性的に評価することにより、数箇所の候補地を抽出します。

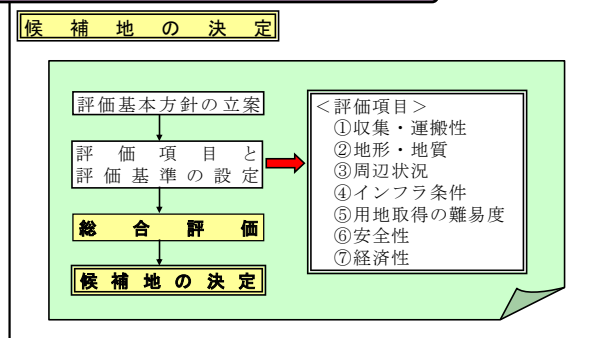
二次選定（候補地の抽出）



◆ 三次選定（候補地の総合評価）

- 二次選定で抽出した数箇所の候補地は、それぞれ現地踏査を実施した上で、三次選定で候補地の順位付けを行います。
- 二次選定で抽出された数箇所の候補地の総合評価は、「①収集・運搬性」、「②地形・地質」、「③周辺状況」、「④インフラ条件」、「⑤用地取得の難易度」、「⑥安全性」、「⑦経済性」などを評価項目として設定します。

三次選定（候補地の総合評価）



- 経済性については、候補地選定作業に必要な施設コンセプトを立案した上で、候補地ごとに概算搬入道路整備費及び概算造成工事費を算出します。
- 候補地の総合評価は、地域事情等を考慮した評価項目の重要度に応じた重み付けを行い、各候補地を評価します。各候補地は最終的に順位付けを行うものとしします。